

## 留学の経験談

王艳妮

この二年間の出来事を綺麗な言葉を並べて、誇張するつもりはありませんが、学校のために、自分のために、自分の思い出を記録するために、何か書き留めたいと思います。日本にどんな大学があるのか知らないまま、有名な大学に進学したいという夢を抱いて日本へ来ました。最初の一年間は、ただ毎日淡々と過ごし、進学のことはまだまだ先のことだと思っていました。アルバイトに行ったり、自分の家に友達を招いてホームパーティを開いたりして、日本に来てもっとも楽しい時期でした。何も心配ごとがなく、自転車に乗ってあちこちブラブラしていたその頃を懐かしく思います。大学進学のと時期になると、理系受験生の私達四人は一緒に勉強したり、一緒に大学を見学に行ったりして同じ目標を目指して頑張ってきました。同じ大学に合格して、また一緒に楽しい四年間の大学生活を送りたいという夢を見ていました。結局、夢は夢に過ぎず、私たちはそれぞれの道に進むことになりました。その頃の幼かった私たち、一緒に受験勉強をしていた私達を懐かしく思います。

学校の先生方には本当にお世話になりました。先生方に、何回も志望理由を添削して、何回も面接練習をして頂きました。怖くて合格発表を見に行く勇気がなかった私に「勇気を出して見に行ってください。どんな結果であれ、先生はいつもそばにいてあげますから」と言って下さいました。誠心誠意に私達の進路を心配して下さいました先生方のことを一生忘れられません。

先生方のご指導のおかげで、東京理科大学に合格できました。ここからは日本での理系の大学受験について話したいと思います。もともと中国の高校で理系を勉強していた学生も来日後、理系より文系のほうが復習しやすいと思いで、理系を諦めて文系に進む学生が結構います。しかし、日本では理系の留学生の受験生は少ないので、理系の基礎がちゃんとあれば、文系より理系のほうが有名大学に合格しやすいと思います。ただし、本当に理系に興味があれば、無理をせずに文系に進んだほうがいいでしょう。理系は文系より卒業に必要な単位数が20単位多く、長期休みの期間も10日程短くなっています。夏休みになっても、建築専攻の私はほとんど毎日学校に通いました。授業に付いていくのが大変で、毎日授業が終わっても図書館にこもってひたすら勉強していました。理系を選んだ以上、四年間頑張る覚悟をしておかなければなりません。理系の大学に進学したら、アルバイトをする時間を作れないと言われていますが、実際はうまく調整すればアルバイトの時間は全く作れないわけではありません。しかし、やはり学習状況を見て、アルバイトの時間と勉強の時間を調整し、学業を最優先にしたほうがいいと思います。一所懸命アルバイトするより真面目に勉強して優秀な成績を収め、学費減免と奨学金の獲得を目指したほうが良いと思います。

最後に、皆さんが思う存分留学生活を楽しんで、よい結果を得られるようにお祈りします。